

オランダ人学生の血清中のタンパク質と無機質成分値について
 山陽学園短大 ○大野佳美 大阪市大生協科学 平井和子

目的 ヒトの栄養状況を把握するための資料を得るために、日本人青年の血清中の成分の濃度を測定し、その結果を発表した。今回、オランダ人について総タンパク質、アルブミン、カルシウム、無機リンおよびリン脂質の各濃度を測定し、日本人のそれらの値と比較検討した。

方法 オランダの大学生男女20名ずつの空腹時血清を検体とし、総タンパク質、アルブミン、カルシウムおよび無機リン濃度を比色法によって測定した。グロブリン濃度は総タンパク質とアルブミン濃度の差とし、A/G比を求めた。リン脂質量は酵素法によって測定した。

結果 血清中の総タンパク質およびアルブミン濃度の平均値はそれぞれ男子8.0 g/100ml, 4.9 g/100ml, 女子7.5 g/100ml, 4.5 g/100mlであった。また、A/G比は男子1.6, 女子1.5であった。これらの値はいずれも正常範囲内であるが、女子の中には総タンパク質濃度の低い者がみられ、これがゆえかであるが女子の平均値が低い原因となった。しかし、有意差はなかった。カルシウム濃度は男子10.4 mg/100ml, 女子10.0 mg/100ml, 無機リン濃度は男女とも3.4 mg/100mlであった。総タンパク質, アルブミン, A/G比, カルシウム, 無機リン濃度については日本人学生との相異は認められなかった。リン脂質濃度は男子187.9 mg/100ml, 女子216.5 mg/100mlと平均値としては女子の方が高値を示したが両者間の相異は認められなかった。また、日本人学生のリン脂質濃度は192.4~199.5 mg/100mlで、これはオランダ人学生の間接値であった。